

# 円居

まどろ

令和5年6月9日(金)  
備前市立備前中学校  
校長 藤森 卓麻  
0869-64-3365

## 備前中生、行事で躍動

### 「思う」から「考える」へ

学校の外に飛び出した備前中の子どもたちが、大いに学びました。

■修学旅行(3年生)5月11～13日

■神戸研修(2年生)5月24日

■関谷研修(1年生)5月12日



備前中生徒がそれぞれの学年で校外研修へ出ていった5月。3年生は長崎へ。平和公園や原爆資料館、そして雲仙・普賢岳の「雲仙岳災害記念館(がまだすドーム)」

などを訪れました。生徒は戦争について、災害について、さらには命の尊さなど、事前に総合学習や教科での学習で学びました。感受性豊かな生徒たちの「思う」力はとても強いです。「怖い」「辛い」「戦争は絶対にしてはいけない」等々、「思う」ことは様々です。そして今回の研修旅行で、現地で見聞きすることで、その学びを深化させていきました。帰ってからはさらに活動の振り返りをしていきます。こうした活動を通して、「思う」から「考える」へ、生徒たちは歩みを進めていきます。事柄の背景や原因、周りにもたらす影響など、それまで得た知識を基に「考える」ように

### 学校行事の必要性

さて、校外学習の目的はほかにもあります。どの学年も共通して、集団活動を通して何かを身につけるということです。社会性、自主性、協調性・・・、そういったものでしょうか。そして何より、クラスメイト、



関谷学校講堂



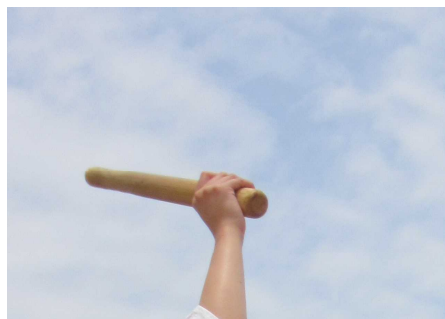
人と防災未来センター



ハウステンボス

学年の仲間と特別な体験をすることで、友だちの新たな一面を発見できたり、新しいことに挑戦できる自分自身に気づいたりすることもありません。次の活動に向けてのエネルギーにつながることもあるでしょう。今、この仲間と、ここでしか体験できないことがあります。研修中の子どもたちの笑顔は忘れられません。そんな場を、これからも提供していかねばと考えます。

## 体育会 6月4日



令和5年度体育会スローガン

「Sky」  
～1人はみんなのために  
みんなは1人のために～



同じく学校行事の体育会。台風と梅雨前線の影響で準備に苦労した体育会でしたが、一日順延し、なんとか開催することができました。全校演技のソーラン節は、初めはどこかしっくりいかない雰囲気がありました。ある日のちよっとしたことがきっかけで、ガラッと変わった瞬間がありました。本当に素直で前向きな備前中の子どもたちの姿に、大きな可能性を感じました。昨年度までは新型コロナウイルス感染症対策の一環として半日開催とさせていただけでしたが、半日だけでは物足りない、というご意見もあるかもしれません。しかしやってみて、体育会の目的自体はこの形

でも達成できるということを含め、あらためて気づかされたことが多くあったコロナ禍でした。これからの新しい「かたち」の体育会として、今後も継続していきたいと考えています。内容については、工夫できるところはもちろん改善していこうと思います。「負担軽減」「効率化」とバランスをとりながら、物事の「本質」を見失うことのないように・・・です。

### 生徒会の挑戦

■生徒総会 5月22日



学級討議等の準備を経て、年に一度の生徒総会が行われました。生徒会活動に関する活動方針や予算についての提案があり、承認されました。それとは別に、校

則に関する意見や提案が出され、今後検討していくことになりました。ポイントは、みんなのためのルールか、自分がどうしたい、ではなく、「備前中をもっといい学校にするにはどうすればいいか」、じゃあ「どんな学校がいい学校なのか」ということです。学校としても全力で応援しようと思えます。生徒たちに大いに期待！です。

※備前中HPのお知らせ



↑  
備前中HPから「学校の様」がご覧いただけます。

